

6号機 非常用ディーゼル発電機（B）不具合による
運転上の制限の逸脱からの復帰について
（公表区分Ⅱ）

2026年9月18日

東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

当所6号機の非常用ディーゼル発電機（以下、D／G）（B）の潤滑油に水分が混入したことから、9月10日、保安規定で要求される措置※¹を講じた上で点検をしたところ、シリンダヘッド※²に不具合を確認しました。

このため、同日午後0時17分、6号機および7号機の保安規定に定める以下の運転上の制限から逸脱したと判断し、保安規定で要求される措置を実施のうえ、点検を進めておりました。

- ・6号機 保安規定第59条
（3台の非常用ディーゼル発電機が動作可能であること）
- ・7号機 保安規定第66条12-3
（号炉間電力融通電気設備を使用した号炉間電力融通が動作可能であること）

（2026年9月10日お知らせ済み）

点検の結果、不具合があったのは、全18か所あるシリンダヘッドのうち、当初確認した1か所のみであり、当該シリンダヘッド以外の機器等については、D／G（B）の機能に影響するような異常は無かったため、当該シリンダヘッドを予備品に交換しています。

2026年9月17日、点検終了後に実施した確認運転において、当該D／G（B）が正常に動作したことから、同日午後9時21分に運転上の制限の逸脱からの復帰を判断しました。

シリンダヘッドに不具合が発生した原因について、引き続き、詳細な調査を進めてまいります。

※1:運転中の6号機は「3台のD／Gが動作可能であること」を運転上の制限として保安規定に定めている。

ただし、予防保全を目的とした作業を実施する場合は、運転上の制限から逸脱した場合に保安規定で要求される下記の措置を講じた上で、計画的に動作不能とすることができる。

【保安規定で要求される措置】

- ・D／G（A）、（C）が動作可能であることを確認
- ・原子炉隔離時冷却系（R C I C）が動作可能であることを確認
- ・10日間以内にD／G（B）を動作可能な状態に復旧

停止中の7号機は「6号機のD／G（A）または（B）からの受電が可能であること」を運転上の制限として保安規定に定めている。

6号機のD／G（B）の動作不能に伴い、運転上の制限から逸脱した場合に保安規定で要求される下記の措置を講じる必要がある。

【保安規定で要求される措置】

- ・ D／G1 台が動作可能であることを確認
- ・ ガスタービン発電機（G T G）が動作可能であることを確認
- ・ 6 号機の D／G（B）より受電可能な状態に復旧するための措置を開始

※2:燃料を燃やしてエンジンを動かす燃焼室の一部を構成する部品。

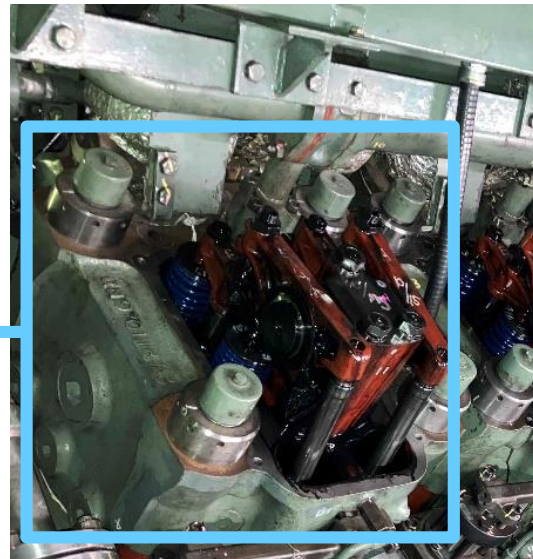
<添付資料>

- ・ 6 号機 非常用ディーゼル発電機（B）点検結果について

以 上

6号機 非常用ディーゼル発電機 (B) 点検結果について

- 点検の結果、冷却水の漏えいが確認されたのは、No.12のシリンダヘッドの1箇所のみ
- また、当該シリンダヘッド以外の機器等については、非常用ディーゼル発電機 (B) の機能に影響するような異常がないことを確認
- そのため、当該シリンダヘッドについて予備品と交換し、潤滑油についても入れ替えを実施
- 点検終了後に実施した非常用ディーゼル発電機 (B) の確認運転において、正常に動作したことから、2026年9月17日午後9時21分に運転上の制限の逸脱からの復帰を判断



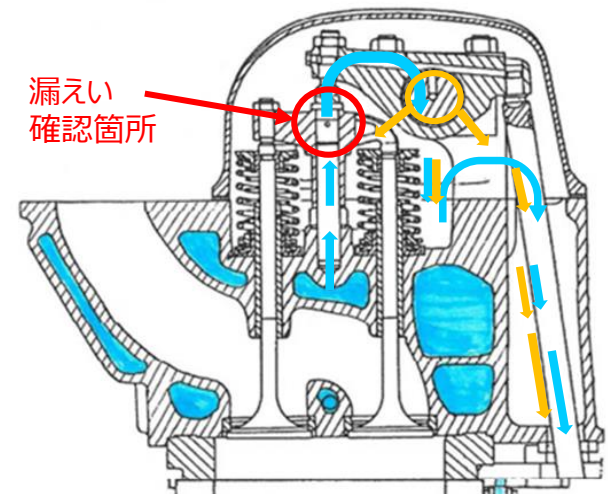
シリンダヘッド外観



取外したシリンダヘッド

推定原因

- ・シリンダヘッドより冷却水の漏えい発生
- ・シリンダヘッド内の潤滑油系統へ混入



シリンダヘッド断面図

- 潤滑油流路
- 冷却水の流路(推定)

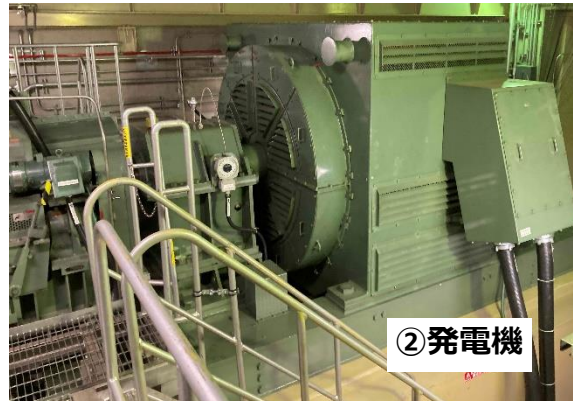
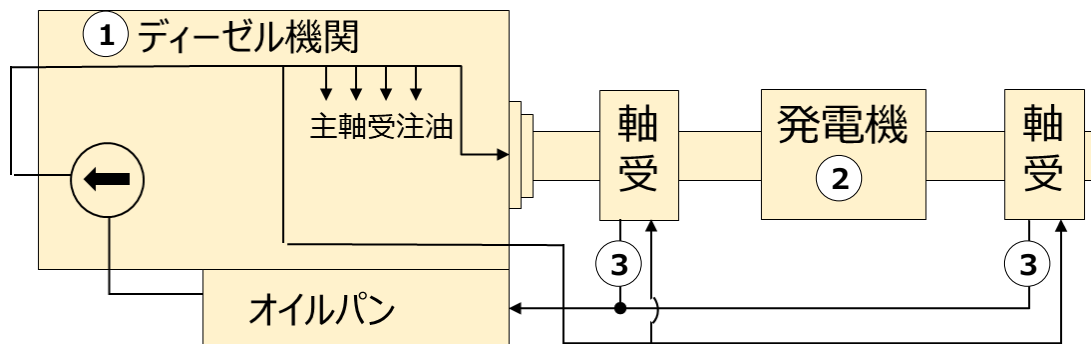
【参考】6号機 非常用ディーゼル発電機（B） 潤滑油への水分混入について

- 7月11日、6号機の非常用ディーゼル発電機（以下、D/G）（B）の潤滑油の状態を確認する窓（サイトグラス）に結露が発生していることを確認したため、以降パトロールによる監視強化を実施
- 定例試験において、運転状態やパラメータに異常はなく、D/G（B）の機能に問題はないものの、潤滑油の採取・分析を実施した結果、何らかの原因により潤滑油内に水分が混入していることを確認
- 現時点で機能に問題はないが、安全最優先の考えから、水分が混入した原因を調査するため本日（9月10日）より、D/G（B）の点検を行うとともに潤滑油の交換を実施
- なお、点検にあたっては6号機が運転中であるため、保安規定で要求される措置※を講じた上で実施

※D/G(A)、(C)及び原子炉隔離時冷却系（RCIC）が動作可能であることを点検開始前に確認

＜非常用ディーゼル発電機概略図＞

潤滑油の流れ： →



【参考】6号機 非常用ディーゼル発電機（B） 潤滑油への水分混入について

- 点検のため、ディーゼル機関の18か所あるシリンダのヘッドカバーを取り外したところ、No.12のシリンダヘッドより水の漏えいを確認
- このため、機器の故障および損傷等の兆候が発生しているとみなし、9月10日午後0時17分に運転上の制限からの逸脱を判断
- 引き続き、D/G（B）の設備を詳細に点検し、原因調査を実施
- なお、本事案による原子炉の運転、使用済燃料プールの冷却への影響及び放射能の影響なし
- また、D/G（A）、（C）やガスタービン発電機等の電源設備についても動作可能

ディーゼル機関断面図

